

市政を問う

親と子と孫が一緒に暮らせるまちづくり

森田市政（二期四年）を問う

質問者8人、傍聴者29人

一般質問は、年4回開催される定例会の中で行われます。

ここに掲載したものは抜粋ですので、全文につきましては、会議録を閲覧されるか、市議会のホームページでご確認ください。

田中 保光 議員

質問項目

1 1期4年を振り返って



Q 市長は4年前に日本一のふるさと「朝倉」構想として7つのビジョンと42の

実施項目を約束され当選された。一期四年間を振り返り取り組みの実績と成果を総合的にどのように評価されているのか尋ねる。

A 平成22年の選挙で日本一のふるさと構想で7つのビジョンを掲げ、親と子と孫が一緒に住める朝倉市を

目指し市政を担当してきたが、時間的制約もあるが一定の成果は上がったと自分なりに考えている。

Q 親と子と孫が一緒に暮らす朝倉市が実現すれば、今なお核家族化が進んでいる中で、子育てに関する問題や老人のみ世帯の増加による高齢者対策等の解決と共に、1ターンのUターン

に結びつき人口の流出がとまり、定住人口の確保にも繋がるが、現在も人口は減少し老人世帯は増加してい

る。親子3代で暮らすのは難しい問題であるが市長の取り組みの考えを尋ねる。

A 一つの家で3世帯同居が一番いいと思うが、なかなか難しい問題である。同居でなくても同じ朝倉市内に住んでもらうことが出来れば色々な面で解決できる問題もあると思う。その為には色々なことをやらなきゃならない。働く場所の確保と子供を産み育てやすい環境作りや生活の中で住みやすい環境と安全確保等



目指せ
三世代が住めるまち

Q 4年間のマニフェストの取り組み評価は

A 一定の成果は上がったと考えている

Q 学校づくりの安全安心とは

A 安全なものをつくるのは務め

どについては、教育委員会としてはお答えできない部分があったのでそういう説明になった。

富田 栄一 議員

質問項目

1 日本一のふるさと政策のビジョンは、どこまでできあがったのか



Q 杷木地域新設学校の住民説明会において、その候補地に、一つは土砂災害警戒区域、もう一つには土砂災害特別警戒区域があるが、造成とか災害対策の予定は無いという事だった。間違いないか。

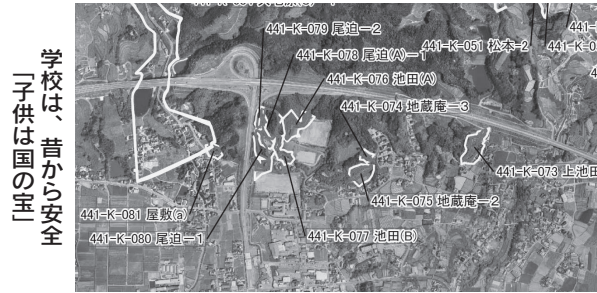
A 土砂災害の防止対策な

(市長)市の全体の会議では未だ出ていない。対策をとるのは当然だ。

Q 危ない可能性がある土地だということを市民に教えていたきたい。学校を造るのは、百年の計と言われていて。充分な知識を市民に与えて、その中で市民が選択していく。そのようなくみをつくっていただきたい。

A 県からの説明会があり、そこで周知された。

Q 二つの候補地について、安全を確認して提案する。また、市民の中から上がった杷木小学校の候補地も、光陽高校のように新しい校舎を建て替えてやる案もある。安全安心に配慮



学校は、昔から安全「子供は国の宝」

いたきたい。

A 安全なものをつくるのは、務めで、そういう形で行う。

Q 小中一貫教育は特区指定でなければできないと聞いたが、どうなのか。

A 朝倉市の小中一貫教育については、カリキュラムをどうするかまで検討していない。

平田 梯子 議員

質問項目

- 1 男女共同参画のまちづくりについて
2 朝倉市における通級指導教室の位置づけについて
3 「木の学校」建設について



Q 平成21年から文部科学省と農水省が共催で、木造校舎建築を取り組みやすくする研修会を毎年全国数カ所で行い、木の学校づくりを推進している。また福岡県や朝倉市は地元の木材利用を推進している。また、山香小、秋月中、

柴刈小の木材を使った校舎等を視察した。温かみがあり、子どもたちのストレスを緩和させ、集中力を増加させ、インフルエンザの蔓延も抑制し、コンクリート校舎で見える雨の日の結露がないとのこと。子どもたちが喜んで登校できる学校だと実感した。

A 木造校舎建築でクリアしなければならぬハードルとは何か。

A 色んな効果はあるが、防火、耐震性にまだ課題がある。メリット、デメリットはこれから検証していかなければならぬ。

Q 調べたところ、建築費は、コンクリート造りの5%から20%増し。一方、学校統合、木造校舎等の条件で補助率が高く、過疎債を利用すれば実質の地方負担は、13.5%程度である。

木材乾燥は、現在乾燥機で2〜3週間できる。強度や地震、防火、防災に関しては、木造校舎は今のところ2階建まで可能である。木造校舎で子どもたちにより学習環境を整えてほしい。市長の見解を求める。

A 私自身木を使うことには賛成。教育委員会と杷木地域新設小学校建設準備委員会、ある一定の結論が出れば、設置者としてはそのことを考慮に入れた建設の在り方を考えていかなければならないと考える。



文科省、農水省発行「こっやっ作る木の学校」の本

Q 子どもたちが過ごしやすい木造校舎建築を

A 一定の結論が出れば考えなければならない

Q 経済の活性化に向けた道路沿線の賑わい創り

A 都市計画道路全体の見直しを進めている

昭和29年からこれまでの間、見直しを行いつつ進めてきている。

柴山 恭子 議員

質問項目

- 1 経済の活性化について
2 農地の集積集約活動について
3 就学援助の手続きについて
4 ピーポット使用について



甘木インターを降りて直進し、突き当たってT字路になつて...

既存の道路をまずは拡張、改良し市民の方々に安心で安全な通行をしてもらうことが第一の出発点...

Q 甘木インターから降りた道、けやき道路、国道386号バイパスなど、まちづくりのような展望を持つての道づくりだったのか...

Q どのようなまちづくりをし、賑わいをもたせ、活性化させていくか...



うきは市のフルーツロード

ちづくりのためにも沿線用途の見直しをすべきではないか。うきは市が国道沿いに桃を植えフルーツロードと名付け、道路沿線に店舗や住宅が立ち並んで賑わいのある道となつて...

A 今の建物の建つた年代等を調査した上で、やるべきことはやっていきたい。

今の段階では農振の見直しは残念ながら許可されない。将来的にいろいろな活性化の関係で市の方針も変わってくれば区域変更して農振除外して宅地化になる可能性もある。

Q 私が議会で一般質問をした際、市長は市役所の建て替えについてまだ考えていないと言つていた...

A 市役所より学校などを先にやるべきなので、その...



中島 秀樹 議員

質問項目

- 1 スイゼンジノリの保護について
2 朝倉市の直売所について
3 市役所の建て替えについて

ように答弁をした。その後、小中学校の耐震補強などに一定の目処が立つてきた。また、市庁舎は古くなつて...

設場所については、デリケートで難しい問題なので、多くの意見を聞きながら進めていく。その上で基本構想・基本設計・実施設計をして、建設期間は一般的に2年程だろう。先ほど言つたように来年度ぐらいから考えていかないと合併特例債の期限に合わない...

Q これは、朝倉市の未来に大きく影響する重要プロジェクトである。どのような手順で話を進めていくのか。具体的なスケジュールを聞きたい。

A 手狭なことや教育委員会などが庁舎外にあることを考えると、市庁舎を耐震補強して引き続き使うよりは、建て替えたほうがいいのではないかと、というのが正直な気持である。特に建



市民に身近な市役所であつてほしい

Q 朝倉市のためになる市役所建設を希望する

A 平成26年度頃から考えないと間に合わない